

政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	2 信頼される学校教育を推進する	施策名	④ 教育環境の充実
------	------------------------	----------------	------------------	-----	-----------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆教育施設の安全性を高めるために、耐震性の低い校舎・体育館等について補強工事を実施するほか、老朽化に伴う快適性の低下に対応するために、校舎の大規模改造や体育館の改築を実施している。 ◆教育環境のさらなる改善を図るため、普通教室冷房化等のリフレッシュスクール事業や、教育用パソコンの整備等のICT整備事業を推進している。	◆校舎・体育館の耐震化率は、平成23年度末において73.2%となっている。 ⇒平成24年度末においては、85.0%となる見込みであり、平成27年度には100%となるよう、今後も一層耐震化を推進していく。	88.1%	耐震化率(学校校舎・体育館)	%	／	57.5	67.4	73.6	77.7	83.1	88.1%
					48.4	57.2	61.9	68.8	73.2	85.0	102.3%
課題	◆学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時に地域住民の応急避難所となるため、安全性の確保が極めて重要であり、東日本大震災を踏まえ、より一層、耐震化を加速させる必要がある。 ◆小中一貫教育の円滑な推進に向け、老朽化した施設の改良や教育内容に対応した快適な教育環境の確保が重要になっている。 ◆地域学校園の着実な展開に向け、学校間の連携や相互支援などを推進するとともに、ICT環境の整備を進め、校務の効率化・平準化を図る必要がある。				／						
					／						
					／						
			市民意識調査(重要度・満足度)		重要度	72.1	67.8	68.2	78.0		%
					満足度	16.8	17.8	26.2	28.8		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
校舎・体育館 耐震化事業	→	○完了	◆平成27年度の耐震化完了に向けて、耐震性の低い施設から優先的に耐震化を進めており、さらに工事を前倒しすることにより、平成23年度末で耐震化率は73.2%に達している。 ⇒平成24年度末の耐震化率は、現計画では85.0%となる見通しである。	◆東日本大震災の検証を踏まえ、国が平成27年度までのできるだけ早い時期に耐震化を完了させるとの方針を打ち出しており、本市においても、より一層耐震化を加速させる必要がある。
学校リフレッシュ化の推進	○冷房化	→	◆冷房化は平成21年度までに普通教室等に整備し、新設する特別支援学級等についても教室の整備にあわせ順次冷房化を進めており、また、トイレについては、屋外トイレの改修完了に向け整備に着手するなど、快適な教育環境の確保に努めている。 ⇒今後整備が必要となる特別支援学級等の冷房化や屋外全トイレ改修完了を目指し、さらなる教育環境の充実を図る。	◆施設の使用年数の長期化に伴い、老朽化した施設設備等への計画的な整備や特別教室の冷房化など更なる学習環境の改善が求められている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度(A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	校舎耐震化事業	児童・生徒・教職員及び地域住民	H18	耐震補強関連事業実施校	校	19	47	14	9	18	A	拡大	校舎の耐震化については、国の施設整備基本方針や本市の耐震改修促進計画に基づき、平成27年までに完了させるために耐震性の低い施設から順次整備を進めていく。
						19	44	7	9				
2	体育館耐震化事業	児童・生徒・教職員及び地域住民	H19	耐震工事関連事業実施校数	校	13	34	9	7	11	A	拡大	体育館の耐震化については、国の施設整備基本方針や本市の耐震改修促進計画に基づき、平成27年までに完了させるために耐震性の低い施設から順次整備を進めていく。
						13	37	9	7				
3	校舎大規模改造事業	児童・生徒・教職員及び地域住民	H12	大規模改造工事実施校	校	4	3	2	3	2	A	継続	大規模改造事業については、耐震化事業を優先しているために実施校数が一時縮小されているが、適正時期に工事が実施できるよう、継続して整備を進めていく。また、実施にあたっては諸室の配置等についても再検討し、学習環境の充実を図っていく。
						4	3	2	3				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度（A～C） ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
4	体育館・武道場整備事業	児童・生徒・教職員及び地域住民	—	体育館改築事業実施校数（設計，改築）	校	8	1	3	8	6	A	継続	体育館等の整備については，安全性・機能性を維持するために，各施設の状態を的確に把握するとともに，建築年次を考慮した順位により計画的な整備を進めていく。
				武道場新築事業実施校数（設計，改築）	校	9	2	3	8				
					校	1	2	1	2	2			
5	教育用パソコン整備事業	児童・生徒・教職員	H18	校務用コンピュータ1台あたりの教員数	人/台	1	1	1	1	1	A	継続	情報化に対応した環境整備については，これまでに整備した情報化の基盤を最大限に活用し，学校事務の効率化を更に進めるなど，学校ICT化推進基本計画を踏まえ，教育環境の充実を図っていく。
				教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	人/台	4	4	4	4	4			
				校内LAN整備率	%	14	13	11	10				
					%	100	100	100	100	100			
6	学校図書館図書整備事業	児童・生徒・教職員	—	充足率が100%以上の学校数	校	93	93	93	93	93	A	継続	図書整備については，図書充足率が全校で100%に達しており，今後は蔵書の更新等による質的充実を図っていく。
					校	52	76	93	93				
7	学校運営活性化事業	市内小中学校	H19	応募学校数	校	93	93	93	93	93	B	見直し	頑張る学校プロジェクト交付金については，「小中一貫教育・地域学校園」の全市実施に併せ，学校を対象とした他の交付金と一本化し，より効果的な活用に向け学校を支援していく。
					校	90	90	92	92				
8	施設改修事業	児童・生徒・教職員	—	校舎等改修実施校		50	85	62	87	80	B	継続	学校施設の改修については，安全性・機能性の適正な維持管理は教育環境の充実のうえで必要不可欠であるため，継続して事業を行っていく。
						50	78	101	64				
9	リフレッシュスクール事業	児童・生徒・教職員	H20	普通教室空調設備設置済校	校	24	65	89	89	89	B	継続	施設整備については，普通教室等の冷房化は完了したが，今後は，屋外全トイレ改修の完了に向けた取り組みを行い，教育環境の充実を図っていく。
				トイレ臭気調査実施校	校	24	65	89	89				
					校	0	0	84	93	93			
10	バリアフリー化事業	児童・生徒・教職員及び学校施設利用者	H11	バリアフリー化事業実施校	校	1	2	0	1	0	B	継続	バリアフリー化については，宇都宮市やさしさをはぐむ福祉のまちづくり条例及びハートビル法に基づき，今後も継続して整備を進めていく。
					校	1	2	0	1				
11	学校業務職員（機動班）による環境整備事業	児童・生徒・教職員及び学校施設利用者	H15	機動班配置済学校数	校	86	93	93	93	93	B	継続	学校業務職員（機動班）の組織体制が整い，施設維持修繕の迅速な対応が可能となってきたが，今後も更なる技術向上，安全管理の強化を図り，教育環境の整備を進めていく。
					校	86	93	93	93				